

法学部開設記念シンポジウムによせて

法学部長 遠 藤 賢 治

総合研究所主催の第45回教員合同研究会は、本学に法学部が開設されたことを記念して「法学研究と他学問分野の交錯」というテーマで2014年3月5日に、シンポジウムを開催いたしました。本テーマは、複雑化しグローバル化する現代社会における法学研究のアプローチとして時宜にかなった重要な視点であり、これほど本シンポジウムにふさわしいものはありません。法学部が45回目という節目の教員合同研究会の当番学部となったことはまことに光栄です。

大学の発展は、教員の教育能力および研究能力の向上とそれに基づく成果の獲得によって裏付けられるものであると考えます。本学が、学部を横断する形で教員の合同研究会を定期的に開催して大学の発展を図ってこられたことは大変に意義深いものであり、先任教員のご努力とご活躍に敬意を表します。

本シンポジウムにおきましては、基調講演1として、加藤雅信教授が「所有権の誕生」と題するテーマで講演され、これについて大原寛史助教がコメントを付され、また、基調講演2として、木棚照一教授が「知的財産権に関する国際私法原則——東アジアの視点から」と題するテーマで講演され、これについて皆川誠講師がコメントを付されました。加藤雅信教授および木棚照一教授は、それぞれの専門分野で日本の学界の指導的立場にある第一人者であり、その高い業績は世界からも注目されておりますが、その研究成果の一端をご講演いただくに当たって、若手研究者である大原寛史助教および皆川誠講師に対してコメントをする機会が与えられたことは画期的な試みであり、これが実現できましたことは大きな喜びであります。このような貴重な研究会の開催を企画した関係者の皆様のご高配に深甚の謝意を表するとともに、次代を担う若手研究者の清らかな活躍に法学部の今後の発展の夢を託したいと思います。

教員合同研究会がますます充実し、本学のさらなる発展に寄与することを願ってやみません。

第45回教員合同研究会

法学部開設記念シンポジウム

「法学研究と他学問分野の交錯」

日 時 : 2014年3月5日(水) 13:00 ~ 17:00

会 場 : 曙館503教室(名古屋キャンパス・白鳥学舎)

司 会: 遠藤賢治(法学部長)

宗教部長祈祷

総合研究所長あいさつ

法学部長あいさつ

基調講演 1. 加藤雅信「所有権の誕生」

コメント(コメンテーター 大原寛史)及び質疑応答

基調講演 2. 木棚照一「知的財産権に関する国際私法原則
— 東アジアの視点から」

コメント(コメンテーター 皆川誠)及び質疑応答

なお、以下には、上記のシンポジウムにおける基調講演とコメントをもとに寄稿していただいた論文を掲載した。